

第1章 東京都配偶者暴力相談支援センターにおける相談内容調査結果

【調査の概要】

東京都配偶者暴力相談支援センター（東京ウィメンズプラザ（以下「ウィメンズプラザ」という。）、東京都女性相談センター（以下「女性相談センター」という。））が受け付けた配偶者暴力に関する相談（電話相談及び面接相談）の内容について調査し、配偶者暴力被害者・加害者の状況、暴力の内容、求める援助等の実態を把握する。

【調査内容】

① 電話相談

調査対象： ウィメンズプラザ及び女性相談センターで、調査期間内に受け付けた、配偶者暴力被害者本人からの電話相談

調査期間： 平成26年7月1日～8月31日

調査方法： 相談を受け付けた配偶者暴力相談支援センターにおいて、専用の調査票に沿って行った。

相談件数： 847件

② 面接相談

調査対象： ウィメンズプラザ及び女性相談センターで、調査期間内に実施した、配偶者暴力被害者本人の面接相談

調査期間： 平成26年7月1日～9月30日

調査方法： 相談を受け付けた配偶者暴力相談支援センターにおいて、専用の調査票に沿って行った。

相談件数： 74件

③ 男性からの相談

調査対象： ウィメンズプラザで、調査期間内に実施した、配偶者暴力被害者又は加害者本人の電話相談

調査期間： 平成26年7月1日～9月30日

調査方法： ウィメンズプラザにおいて、専用の調査票に沿って行った。

相談件数： 31件

【調査結果をみる際の留意点】

- （1）電話相談は匿名で受け付けたため、件数は実数ではなく延べ数である。また、相談の中で言及されなかった点については集計に含まれておらず、項目により「回答なし」が多くなっていることに留意する必要がある。
- （2）面接相談は調査項目が詳細であり、個人的な情報も含まれているため、相談者の承諾を得た上で調査票を作成して集計した。
- （3）相談には、交際相手からの暴力も含まれている。

- (4) 報告書に掲載した表中の数値は、上段：件数、下段：構成比（％）となっている。
構成比（％）は、全回答者数に対する各項目の回答者数の割合であり、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合がある。
- (5) 該当数字なしは、「-」と表記している。
- (6) nは、回答総数を意味している。

1. 電話相談

(1) 受付機関

本調査は、配偶者暴力相談支援センターである「ウイメンズプラザ」、「女性相談センター」、で受け付けた電話相談について集計した。

表 1-1 受付機関

	調査数	ウイメンズプラザ	女性相談センター
合計	847 100.0	450 53.1	397 46.9

(2) 紹介経路

紹介経路としては「インターネット」が17.0%、「他行政機関」が14.5%の順となっている。ただし女性相談センターにおいては、「他行政機関」からの紹介が22.4%で最も多くなっており、区役所・警察・福祉事務所・子供家庭支援センターなどが挙げられている。「その他」の紹介経路は法テラス・医療機関・女性相談員などが複数挙げられている。

表 1-2 紹介経路

(件:%)

	調査数	他行政機関	インターネット	リーフレット チラシ・	知人・友人	その他	不明	回答なし
合計	847 100.0	123 14.5	144 17.0	27 3.2	30 3.5	55 6.5	462 54.5	6 0.7
ウイメンズプラザ	450 100.0	34 7.6	118 26.2	15 3.3	20 4.4	35 7.8	228 50.7	- -
女性相談センター	397 100.0	89 22.4	26 6.5	12 3.0	10 2.5	20 5.0	234 58.9	6 1.5

(3) 年代

相談者（被害者）の年代は、「40歳代」が28.3%、「30歳代」が21.5%、「50歳代」が11.5%の順となっている。前回の報告書では「30歳代」が33.5%、「40歳代」が19.1%、「20歳代」が8.9%であり、前回より相談者の年齢層が上がっている。

表 1-3 被害者の年代

(件:%)

	調査数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	回答なし
合計	847 100.0	4 0.5	72 8.5	182 21.5	240 28.3	97 11.5	55 6.5	196 23.1	1 0.1
ウィメンズプラザ	450 100.0	2 0.4	49 10.9	137 30.4	175 38.9	55 12.2	14 3.1	18 4.0	- -
女性相談センター	397 100.0	2 0.5	23 5.8	45 11.3	65 16.4	42 10.6	41 10.3	178 44.8	1 0.3

(4) 職業

被害者の職業は、「無職（主婦）」が18.8%、「パート・アルバイト」が9.0%となっているが、不明・回答なしで6割を超えるため、職業が確認できた人だけで見ると、「無職（主婦）」が48.0%、「パート・アルバイト」が23.0%であり、この2つで7割を占める。

表 1-4 被害者の職業

(件:%)

	調査数	回答者数	自営業	会社員・正規職員	契約（派遣）社員	パート・アルバイト	学生	無職（主婦）	その他	不明	回答なし
合計	847 100.0	331	17 2.0	49 5.8	5 0.6	76 9.0	10 1.2	159 18.8	15 1.8	504 59.5	12 1.4
ウィメンズプラザ	450 100.0	77	3 0.7	20 4.4	- -	22 4.9	5 1.1	27 6.0	- -	373 82.9	- -
女性相談センター	397 100.0	254	14 3.5	29 7.3	5 1.3	54 13.6	5 1.3	132 33.2	15 3.8	131 33.0	12 3.0

表 1-5 被害者の職業(不明・回答なしを除く)

(件:%)

	回答者数	自営業	会社員・正規職員	契約(派遣)社員	パート・アルバイト	学生	無職(主婦)	その他
合計	331 100.0	17 5.1	49 14.8	5 1.5	76 23.0	10 3.0	159 48.0	15 4.5
ウィメンズプラザ	77 100.0	3 3.9	20 26.0	- -	22 28.6	5 6.5	27 35.1	- -
女性相談センター	254 100.0	14 5.5	29 11.4	5 2.0	54 21.3	5 2.0	132 52.0	15 5.9

(5) 居住の現状

居住の現状は、加害者と「同居」が 54.1%、「別居」が 28.6%となっている。

表 1-6 居住の現状

(件:%)

	調査数	同居	別居	不明	回答なし
合計	847 100.0	458 54.1	242 28.6	136 16.1	11 1.3
ウィメンズプラザ	450 100.0	203 45.1	165 36.7	82 18.2	- -
女性相談センター	397 100.0	255 64.2	77 19.4	54 13.6	11 2.8

(6) 婚姻の現状

婚姻の現状は、「婚姻」が70.0%で最も多く、「未婚」が10.4%、「事実婚」が3.1%となっている。

表 1-7 婚姻の現状

(件:%)

	調査数	未婚	離婚	事実婚	婚姻	不明	回答なし
合計	847 100.0	88 10.4	70 8.3	26 3.1	593 70.0	55 6.5	15 1.8
ウイメンズプラザ	450 100.0	67 14.9	37 8.2	8 1.8	332 73.8	6 1.3	- -
女性相談センター	397 100.0	21 5.3	33 8.3	18 4.5	261 65.7	49 12.3	15 3.8

(6)-1 婚姻期間

(6)で「離婚」、「事実婚」、「婚姻」を選択した689人の婚姻期間は、「10年以上」が最も多く34.8%となっており、「5～10年未満」が11.9%、「1～3年未満」が6.8%の順となっている。

表 1-8 婚姻期間(離婚、事実婚、婚姻)

(件:%)

	調査数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	不明	回答なし
合計	689 100.0	22 3.2	47 6.8	23 3.3	82 11.9	240 34.8	271 39.3	4 0.6
ウイメンズプラザ	377 100.0	10 2.7	31 8.2	8 2.1	51 13.5	98 26.0	179 47.5	- -
女性相談センター	312 100.0	12 3.8	16 5.1	15 4.8	31 9.9	142 45.5	92 29.5	4 1.3

(6)－2 交際期間

(6)で「未婚」を選択した88人の交際期間は、「1年未満」が最も多く26.1%、「1～3年未満」が21.6%の順となっている。

表 1-9 交際期間(未婚)

(件・%)

	調査数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	不明	回答なし
合計	88 100.0	23 26.1	19 21.6	5 5.7	7 8.0	5 5.7	26 29.5	3 3.4
ウイメンズプラザ	67 100.0	18 26.9	14 20.9	4 6.0	5 7.5	4 6.0	22 32.8	－ －
女性相談センター	21 100.0	5 23.8	5 23.8	1 4.8	2 9.5	1 4.8	4 19.0	3 14.3

(7) 受けた暴力

被害者のうち、「身体的暴力」を受けた割合は52.8%、「精神的暴力（経済的暴力を除く）」は77.2%、「精神的暴力（経済的暴力）」は20.7%、「性的暴力」は7.2%となっている。受けた暴力の内容としては、身体的暴力では、「殴る」が24.3%、「蹴る」が14.8%、「物を投げつける」が10.3%となっている。その他では「髪をひっぱる」、「突き飛ばす」、「引きずり回す」、「火を押し付ける」などが挙げられた。精神的暴力（経済的暴力を除く）では、「怒鳴る」が32.8%、「脅す」、「バカにする」が14.9%の順となっている。その他では「人格を否定する」、「行動を監視する」、「家から追い出す」などが挙げられた。精神的暴力（経済的暴力）については、「生活費（小遣い）を渡さない」が8.4%で最も多かった。性的暴力では「性行為の強要」が3.9%と最も多く、その他では「借金をする」、「本人の親に脅しの電話をする」などがあつた。

表 1-10 受けた暴力(複数回答)

	調査数	身体的暴力							
		身体的暴力・合計	殴る	蹴る	凶器を突きつける	首を絞める	物を投げつける	その他	特定できない身体的暴力
合計	847	447	206	125	18	46	87	59	121
	100.0	52.8	24.3	14.8	2.1	5.4	10.3	7.0	14.3
ウイメンズプラザ	450	233	86	44	8	22	35	21	72
	100.0	51.8	19.1	9.8	1.8	4.9	7.8	4.7	16.0
女性相談センター	397	214	120	81	10	24	52	38	49
	100.0	53.9	30.2	20.4	2.5	6.0	13.1	9.6	12.3

精神的暴力(経済的暴力を除く)											
暴力を除く合計	怒鳴る	脅す	無視する	バカにする	付き合いの制限	大切なものを壊す	理不尽な命令する	メール・SNSのチェック	外出制限	その他	特定できない精神的暴力
654	278	126	79	126	32	30	79	20	20	74	186
77.2	32.8	14.9	9.3	14.9	3.8	3.5	9.3	2.4	2.4	8.7	22.0
361	106	40	27	37	12	8	59	16	9	10	124
80.2	23.6	8.9	6.0	8.2	2.7	1.8	13.1	3.6	2.0	2.2	27.6
293	172	86	52	89	20	22	20	4	11	64	62
73.8	43.3	21.7	13.1	22.4	5.0	5.5	5.0	1.0	2.8	16.1	15.6

(件:%)

精神的暴力(経済的暴力)						性的暴力							その他
精神的暴力(経済的暴力)合計	生活費(小遣い)を渡さない	出費をチェック 必要以上に	「誰のおかげで 生活できるのか」と言う	その他	特定できない経済的暴力	性的暴力・合計	性行為の強要	避妊に協力しない	中絶の強要	見ることを強要	雑誌・ビデオを	その他	
175	71	14	42	38	41	61	33	8	-	-	5	17	68
20.7	8.4	1.7	5.0	4.5	4.8	7.2	3.9	0.9	-	-	0.6	2.0	8.0
69	31	3	7	1	30	37	21	6	-	-	-	11	27
15.3	6.9	0.7	1.6	0.2	6.7	8.2	4.7	1.3	-	-	-	2.4	6.0
106	40	11	35	37	11	24	12	2	-	-	5	6	41
26.7	10.1	2.8	8.8	9.3	2.8	6.0	3.0	0.5	-	-	1.3	1.5	10.3

※ 合計人数は、各暴力内の選択肢を1つ以上選択した人数とした。

(8) 暴力の頻度

暴力を受ける頻度は、「頻繁に」と答えた人が29.6%と最も多く、「月数回程度」が10.6%、「過去数回程度」が7.1%、「年数回程度」が4.6%の順になっている。その他としては「身体的暴力は今回が初めて」、「半年に1、2回」などがある。

表 1-11 暴力の頻度

(件:%)

	調査数	頻繁に	週1回程度	月数回程度	年数回程度	過去数回程度	その他	不明	回答なし
合計	847	251	8	90	39	60	10	380	9
	100.0	29.6	0.9	10.6	4.6	7.1	1.2	44.9	1.1
ウィメンズプラザ	450	142	-	72	23	51	2	160	-
	100.0	31.6	-	16.0	5.1	11.3	0.4	35.6	-
女性相談センター	397	109	8	18	16	9	8	220	9
	100.0	27.5	2.0	4.5	4.0	2.3	2.0	55.4	2.3

(9) 子供の有無

子供の有無は、「あり」が66.7%、「なし」が13.5%となっている。

表 1-12 子供の有無

(件:%)

	調査数	あり	なし	不明	回答なし
合計	847 100.0	565 66.7	114 13.5	166 19.6	2 0.2
ウィメンズプラザ	450 100.0	298 66.2	51 11.3	101 22.4	- -
女性相談センター	397 100.0	267 67.3	63 15.9	65 16.4	2 0.5

(9)-1 子供の人数

(9)で子供「あり」と答えた565人の子供の人数は、「1人」が40.9%、「2人」が34.3%、「3人」が12.9%となっている。

表 1-13 子供の人数

(件:%)

	調査数	1人	2人	3人	4人以上	不明	回答なし
合計	565 100.0	231 40.9	194 34.3	73 12.9	7 1.2	59 10.4	1 0.2
ウィメンズプラザ	298 100.0	134 45.0	103 34.6	28 9.4	3 1.0	30 10.1	- -
女性相談センター	267 100.0	97 36.3	91 34.1	45 16.9	4 1.5	29 10.9	1 0.4

(9)－2 子供の年代

(9)で子供「あり」と答えた 565 人の子供の年代は、「18 歳以上」が 29.7%で最も多く、「小学生」が 26.2%、「0～2 歳」が 19.5%の順になっている。

表 1-14 子供の年代(複数回答)

(件:%)

	調査数	0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生	18歳以上	不明	回答なし
合計	565 100.0	110 19.5	123 21.8	148 26.2	103 18.2	43 7.6	168 29.7	102 18.1	146 25.8
ウィメンズプラザ	298 100.0	68 22.8	74 24.8	86 28.9	67 22.5	-	69 23.2	85 28.5	-
女性相談センター	267 100.0	42 15.7	49 18.4	62 23.2	36 13.5	43 16.1	99 37.1	17 6.4	146 54.7

(9)－3 加害者から子供への暴力の有無

(9)で子供「あり」と答えた 565 人の夫・その他の相手(加害者)から子供への暴力は、「あり」が 24.4%となっている。

表 1-15 加害者から子供への暴力の有無

(件:%)

	調査数	あり	なし	不明	回答なし
合計	565 100.0	138 24.4	41 7.3	380 67.3	6 1.1
ウィメンズプラザ	298 100.0	38 12.8	-	260 87.2	-
女性相談センター	267 100.0	100 37.5	41 15.4	120 44.9	6 2.2

(9)－3－1 加害者から子供への暴力の種類

(9)－3で加害者から子供への暴力が「あり」と答えた138人に暴力の種類を尋ねたところ、「精神的暴力」が62.3%で最も多く、次いで「身体的暴力」が35.5%となっている。また、「性的暴力」は3.6%、「育児放棄」は1.4%である。

表 1-16 加害者から子供への暴力の種類(複数回答) (件:%)

	調査数	身体的暴力	精神的暴力	性的暴力	育児放棄	不明	回答なし
合計	138 100.0	49 35.5	86 62.3	5 3.6	2 1.4	20 14.5	1 0.7
ウィメンズプラザ	38 100.0	21 55.3	16 42.1	- -	- -	1 2.6	- -
女性相談センター	100 100.0	28 28.0	70 70.0	5 5.0	2 2.0	19 19.0	1 1.0

(9)－4 被害者から子供への暴力の有無

(9)で子供「あり」と答えた565人に、子供へ暴力を行ったことがあるかを尋ねたところ、「あり」は全体の2.1%となっている。

表 1-17 被害者から子供への暴力の有無 (件:%)

	調査数	あり	なし	不明	回答なし
合計	565 100.0	12 2.1	140 24.8	409 72.4	4 0.7
ウィメンズプラザ	298 100.0	1 0.3	29 9.7	268 89.9	- -
女性相談センター	267 100.0	11 4.1	111 41.6	141 52.8	4 1.5

(9)－4－1 被害者から子供への暴力の種類

(9)－4で被害者から子供への暴力が「あり」と答えた12人の暴力の種類は、「精神的暴力」が25.0%、「身体的暴力」が16.7%の順となっている。

表 1-18 被害者から子供への暴力の種類(複数回答) (件:%)

	調査数	身体的暴力	精神的暴力	性的暴力	育児放棄	不明
合計	12 100.0	2 16.7	3 25.0	- -	- -	7 58.3
ウィメンズプラザ	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
女性相談センター	11 100.0	2 18.2	3 27.3	- -	- -	6 54.5

(10) 相談内容

被害者の相談内容は、「加害者と別れたい」が24.8%で最も多く、「どうしたら良いのかわからない」が22.8%、「情報を提供してほしい」が11.8%の順となっている。その他の内容として「子供についての相談」、「話を聞いてもらいたい」、「養育費・婚費についての相談」などとなっている。

表 1-19 相談内容(複数回答) (件:%)

	調査数	加害者から逃げたい	加害者と別れたい	子供への暴力について	暴力をやめさせたい	どうしたら良いのかわからない	自分がDVを受けているかわからない	加害者が更生できるか	子供の様子がおかしい	情報を提供してほしい	その他
合計	847 100.0	79 9.3	210 24.8	12 1.4	17 2.0	193 22.8	36 4.3	23 2.7	3 0.4	100 11.8	289 34.1
ウィメンズプラザ	450 100.0	29 6.4	96 21.3	- -	2 0.4	87 19.3	15 3.3	10 2.2	- -	57 12.7	153 34.0
女性相談センター	397 100.0	50 12.6	114 28.7	12 3.0	15 3.8	106 26.7	21 5.3	13 3.3	3 0.8	43 10.8	136 34.3

(11) 紹介した機関

紹介した機関は、「福祉事務所」が 14.6%、「警察」が 10.6%、「弁護士会等（弁護士会・法テラス等）」が 7.3%の順番となっている。また「その他」では「民間カウンセリング」、「女性相談センター」などがあった。

表 1-20 紹介した機関(複数回答)

	調査数	窓口相談で終了	福祉事務所	保健所	児童相談所 (子供家庭支援センター含む)	警察	精神保健センター	家庭裁判所
合計	847 100.0	467 55.1	124 14.6	4 0.5	5 0.6	90 10.6	4 0.5	10 1.2
ウイメンズプラザ	450 100.0	330 73.3	30 6.7	2 0.4	2 0.4	29 6.4	1 0.2	- -
女性相談センター	397 100.0	137 34.5	94 23.7	2 0.5	3 0.8	61 15.4	3 0.8	10 2.5

(件:%)

医療機関	(弁護士会・法テラス等) 弁護士会等	他県のセンター等	都民・区市町村窓口	区市町村女性センター・ 配偶者暴力相談支援センター	その他
9 1.1	62 7.3	5 0.6	11 1.3	31 3.7	116 13.7
3 0.7	38 8.4	- -	4 0.9	6 1.3	5 1.1
6 1.5	24 6.0	5 1.3	7 1.8	25 6.3	111 28.0

2. 面接相談

(1) 受付機関

本調査は、配偶者暴力相談支援センターである「ウィメンズプラザ」、「女性相談センター本所」、「女性相談センター支所」で受け付けた面接相談について集計した。

表 1-21 受付機関 (件:%)

	調査数	ウィメンズプラザ	女性相談センター本所	女性相談センター支所
合計	74 100.0	8 10.8	25 33.8	41 55.4
ウィメンズプラザ	8 100.0	8 100.0	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	- -	25 37.9	41 62.1

(2) 年代

相談者（被害者）の年代は、「40歳代」が32.4%、「30歳代」が29.7%、「20歳代」が20.3%の順となっている。前回の調査では「30歳代」が41.8%、「40歳代」が21.8%の順となっており、より相談者の年齢層が上がっている。

表 1-22 被害者の年代 (件:%)

	調査数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
合計	74 100.0	1 1.4	15 20.3	22 29.7	24 32.4	7 9.5	5 6.8
ウィメンズプラザ	8 100.0	- -	- -	4 50.0	2 25.0	2 25.0	- -
女性相談センター	66 100.0	1 1.5	15 22.7	18 27.3	22 33.3	5 7.6	5 7.6

(3) 職業

被害者の職業は、「無職（主婦）」が45.9%で最も多く、「パート・アルバイト」が24.3%、「会社員・正規職員」が12.2%の順となっている。

表 1-23 被害者の職業

(件:%)

	調査数	無職(主婦)	自営業	会社員・正規職員	パート・アルバイト	学生	その他	不明	回答なし
合計	74 100.0	34 45.9	4 5.4	9 12.2	18 24.3	- -	8 10.8	- -	1 1.4
ウィメンズプラザ	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	- -	- -	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	32 48.5	2 3.0	8 12.1	15 22.7	- -	8 12.1	- -	1 1.5

(4) 居住の現状

居住の現状は、加害者と「同居」が58.1%、「別居」が36.5%である。

表 1-24 居住の現状

(件:%)

	調査数	同居	別居	不明	回答なし
合計	74 100.0	43 58.1	27 36.5	3 4.1	1 1.4
ウィメンズプラザ	8 100.0	- -	8 100.0	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	43 65.2	19 28.8	3 4.5	1 1.5

(5) 婚姻の現状

婚姻の現状は、「婚姻」が66.2%と最も多く、「未婚」と「離婚」がともに12.2%となっている。

表 1-25 婚姻の現状

(件:%)

	調査数	未婚	離婚	事実婚	婚姻	不明	回答なし
合計	74 100.0	9 12.2	9 12.2	2 2.7	49 66.2	2 2.7	3 4.1
ウィメンズプラザ	8 100.0	1 12.5	2 25.0	- -	5 62.5	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	8 12.1	7 10.6	2 3.0	44 66.7	2 3.0	3 4.5

(5)-1 婚姻期間

(5)で「離婚」、「事実婚」、「婚姻」を選択した60人の婚姻期間は、「10年以上」が36.7%と最も多く、「5~10年未満」が28.3%、「1~3年未満」が16.7%の順になっている。

表 1-26 婚姻期間

(件:%)

	調査数	1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	不明	回答なし
合計	60 100.0	1 1.7	10 16.7	6 10.0	17 28.3	22 36.7	1 1.7	3 5.0
ウィメンズプラザ	7 100.0	- -	- -	2 28.6	2 28.6	3 42.9	- -	- -
女性相談センター	53 100.0	1 1.9	10 18.9	4 7.5	15 28.3	19 35.8	1 1.9	3 5.7

(5)－2 交際期間

(5)で「未婚」を選択した9人の交際期間は「1年未満」、「1～3年未満」がそれぞれ33.3%となっている。

表 1-27 交際期間

(件:%)

	調査数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	回答なし
合計	9 100.0	3 33.3	3 33.3	1 11.1	1 11.1	- -	1 11.1
ウィメンズプラザ	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
女性相談センター	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5

(6) 受けた暴力

被害者のうち、「身体的暴力」を受けた割合は81.1%、「精神的暴力（経済的暴力を除く）」は86.5%、「精神的暴力（経済的暴力）」は31.1%、「性的暴力」は23.0%となっている。受けた暴力の内容としては、身体的暴力では「殴る」が60.8%、「蹴る」が50.0%となっている。「その他」では、「髪を切る」、突き飛ばす、「つねる」などが挙げられた。精神的暴力（経済的暴力を除く）では「怒鳴る」が67.6%、「脅す」が43.2%となっている。精神的暴力（経済的暴力）では「生活費を渡さない」が14.9%となっている。「その他」では、「ギャンブルで多額の借金をつくる」などが挙げられた。性的暴力では「性行為の強要」が13.5%となっている。

表 1-28 受けた暴力(複数回答)

	調査数	身体的暴力												
		身体的暴力・合計人数	殴る	蹴る	凶器を持ち出す	首を絞める	物を投げつける	胸ぐらをつかむ	投げ飛ばす	髪を引っ張る	物で殴る	腕をねじる	殴るふりをする	その他
合計	74	60	45	37	7	18	22	7	9	11	6	4	1	10
	100.0	81.1	60.8	50.0	9.5	24.3	29.7	9.5	12.2	14.9	8.1	5.4	1.4	13.5
ウィメンズプラザ	8	6	5	4	1	2	3	1	1	1	1	2	1	1
	100.0	75.0	62.5	50.0	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5
女性相談センター	66	54	40	33	6	16	19	6	8	10	5	2	-	9
	100.0	81.8	60.6	50.0	9.1	24.2	28.8	9.1	12.1	15.2	7.6	3.0	-	13.6

精神的暴力(経済的暴力を除く)														
精神的暴力(経済的暴力を除く)合計人数	怒鳴る	脅す	無視する	バカにする	付き合いの制限	チェック	メール・SNSの命令する	大切なものを壊す	子供を使って脅す	家から閉め出す	行動を監視・外出制限	覚えのない疑いをかけられる	他人の前で侮辱される	その他
64	50	32	9	30	15	4	22	7	6	4	13	8	5	7
86.5	67.6	43.2	12.2	40.5	20.3	5.4	29.7	9.5	8.1	5.4	17.6	10.8	6.8	9.5
8	8	6	4	4	3	-	4	1	2	1	3	3	2	2
100.0	100.0	75.0	50.0	50.0	37.5	-	50.0	12.5	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	25.0
56	42	26	5	26	12	4	18	6	4	3	10	5	3	5
84.8	63.6	39.4	7.6	39.4	18.2	6.1	27.3	9.1	6.1	4.5	15.2	7.6	4.5	7.6

(件：%)

精神的暴力(経済的暴力)					性的暴力						その他
(経済的暴力)合計人数	精神的暴力	生活費を渡さない	出費をチェック	生活でできるのか」と言う	「誰のおかげで その他	性的暴力・合計人数	性行為の強要	避妊に協力しない	中絶の強要	見ることを強要	
23	11	6	6	5	17	10	3	3	-	2	1
31.1	14.9	8.1	8.1	6.8	23.0	13.5	4.1	4.1	-	2.7	1.4
4	1	1	1	2	3	-	1	-	-	2	-
50.0	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5	-	12.5	-	-	25.0	-
19	10	5	5	3	14	10	2	3	-	-	1
28.8	15.2	7.6	7.6	4.5	21.2	15.2	3.0	4.5	-	-	1.5

※ 合計人数は、各暴力内の選択肢を1つ以上選択した人数とした。

(7) 最初の暴力の時期

最初の暴力の時期は、「結婚1年未満」が37.8%と最も多く、「結婚前から」が21.6%、「結婚1～5年未満」が17.6%の順になっている。

表 1-29 最初の暴力の時期

(件：%)

	調査数	結婚前から	結婚1年未満	結婚1～5年未満	結婚5～10年未満	結婚10年以上	その他	不明	回答なし	参考	
										妊娠がわかってから	出産後
合計	74	16	28	13	3	2	-	8	3	1	1
	100	21.6	37.8	17.6	4.1	2.7	-	10.8	4.1	1.4	1.4
ウィメンズプラザ	8	2	1	2	1	-	-	1	1	1	-
	100	25	12.5	25	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5	-
女性相談センター	66	14	27	11	2	2	-	8	2	-	1
	100	21.2	40.9	16.7	3	3	-	12.1	3	-	1.5

(8) 暴力の頻度

暴力を受ける頻度は、「頻繁に」と答えた人が33.8%と最も多く、「月数回程度」が17.6%、「年数回程度」が8.1%の順になっている。その他としては「月に1回」などがある。

表 1-30 暴力の頻度

(件:%)

	調査数	頻繁に	週1回程度	月数回程度	年数回程度	過去数回程度	その他	不明	回答なし
合計	74	25	3	13	6	2	4	16	5
	100.0	33.8	4.1	17.6	8.1	2.7	5.4	21.6	6.8
ウィメンズプラザ	8	4	-	2	1	1	-	-	-
	100.0	50.0	-	25.0	12.5	12.5	-	-	-
女性相談センター	66	21	3	11	5	1	4	16	5
	100.0	31.8	4.5	16.7	7.6	1.5	6.1	24.2	7.6

(9) 暴力に至ったきっかけ

暴力に至ったきっかけは、「意に沿わないことを言った」が39.2%で最も多く、「口喧嘩から発展」が36.5%、「被害者が思い通りにならない」が27.0%の順になっている。

表 1-31 暴力に至ったきっかけ (複数回答)

(件:%)

	調査数	意に沿わないことを言った	口喧嘩から発展	食事など家事が気に入らない	別れ話をした	性行為を断った	被害者が思い通りにならない	嫉妬・不貞への疑い	復縁の拒否	飲酒	特に理由はない	わからない	不明	その他	回答なし
合計	74	29	27	5	5	5	20	11	1	4	5	5	3	4	1
	100.0	39.2	36.5	6.8	6.8	6.8	27.0	14.9	1.4	5.4	6.8	6.8	4.1	5.4	1.4
ウィメンズプラザ	8	4	3	-	1	-	2	3	-	2	2	-	-	-	-
	100.0	50.0	37.5	-	12.5	-	25.0	37.5	-	25.0	25.0	-	-	-	-
女性相談センター	66	25	24	5	4	5	18	8	1	2	3	5	3	4	1
	100.0	37.9	36.4	7.6	6.1	7.6	27.3	12.1	1.5	3.0	4.5	7.6	4.5	6.1	1.5

(10) 暴力の被害

暴力の被害のうち、「身体的被害」を受けた割合は67.6%、「精神的被害」は78.4%、「その他の被害」は20.3%となっている。受けた暴力の内容としては、「身体的被害」では「打撲・あざ」が44.6%で最も多く、次いで「顔が腫れる・あざ」が24.3%となっている。その他では、「頬に火傷」、「口の中が切れる」などがあった。「精神的被害」では、「怯え」が37.8%、「自己評価の低下」の28.4%の順となっている。その他としては、「過呼吸」、「パニック障害」などがあった。「その他の被害」では、「モノに当たる」が4.1%で最も多かった。

表 1-32 暴力の被害（複数回答）

	調査数	身体的被害									
		身体的被害・合計人数	顔が腫れる・あざ	全身打撲	頭部の怪我・こぶ	唇が切れる・腫れる	目が腫れる・出血	骨折	脳震とう	打撲・あざ	歯が折れる・抜ける
合計	74	50	18	9	8	2	5	5	-	33	1
	100.0	67.6	24.3	12.2	10.8	2.7	6.8	6.8	-	44.6	1.4
ウィメンズプラザ	8	6	2	-	1	-	1	1	-	6	-
	100.0	75.0	25.0	-	12.5	-	12.5	12.5	-	75.0	-
女性相談センター	66	44	16	9	7	2	4	4	-	27	1
	100.0	66.7	24.2	13.6	10.6	3.0	6.1	6.1	-	40.9	1.5

鼻がゆがむ・鼻血	腰痛	やけど	鼓膜がやぶれる	その他
-	-	1	-	6
-	-	1.4	-	8.1
-	-	-	-	1
-	-	-	-	12.5
-	-	1	-	5
-	-	1.5	-	7.6

精神的被害													
精神的被害・合計人数	自己評価の低下	怯え	不眠	無気力	頭痛・めまい	起きてられない	うつ状態	解離・まひ	食欲低下	粗食障害	アルコール依存	考えがまとまらない	その他
58	21	28	19	12	4	1	9	7	2	-	-	14	10
78.4	28.4	37.8	25.7	16.2	5.4	1.4	12.2	9.5	2.7	-	-	18.9	13.5
8	4	5	4	2	2	-	2	2	2	-	-	3	1
100.0	50.0	62.5	50.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	37.5	12.5
50	17	23	15	10	2	1	7	5	-	-	-	11	9
75.8	25.8	34.8	22.7	15.2	3.0	1.5	10.6	7.6	-	-	-	16.7	13.6

(件:%)

その他の被害					
その他の被害・合計人数	暴力を振るう	自分が子供に	モノに当たる	その他	不明
15	1	3	1	10	
20.3	1.4	4.1	1.4	13.5	
3	-	1	-	2	
37.5	-	12.5	-	25.0	
12	1	2	1	8	
18.2	1.5	3.0	1.5	12.1	

※ 合計人数は、各被害内の選択肢を1つ以上選択した人数とした。

(11) 病院等受診歴

病院等の受診歴が「あり」の人は 55.4%、「なし」の人は 36.5%である。

表 1-33 病院等受診歴

(件:%)

	調査数	あり	なし	不明	回答なし
合計	74 100.0	41 55.4	27 36.5	4 5.4	2 2.7
ウィメンズプラザ	8 100.0	4 50.0	3 37.5	- -	1 12.5
女性相談センター	66 100.0	37 56.1	24 36.4	4 6.1	1 1.5

(11) - 1 受診した科

(11) で受診歴が「あり」と答えた 41 人の受診した科は、「精神科」が 51.2%で最も多く、「整形外科」が 22.0%、「外科」、「内科」が 12.2%の順になっている。

表 1-34 受診した科 (複数回答)

(件:%)

	調査数	精神科	整形外科	外科	内科	眼科	産婦人科	脳外科	耳鼻科	皮膚科	その他	不明
合計	41 100.0	21 51.2	9 22.0	5 12.2	5 12.2	- -	3 7.3	- -	1 2.4	1 2.4	4 9.8	2 4.9
ウィメンズプラザ	4 100.0	3 75.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -
女性相談センター	37 100.0	18 48.6	7 18.9	5 13.5	5 13.5	- -	3 8.1	- -	- -	1 2.7	4 10.8	2 5.4

(12) 暴力を受けたときの気持ち

暴力を受けたときの気持ちは、「怖い・恐怖・怯え」が58.1%で最も多く、「相手と別れたい」が35.1%、「屈辱・悔しい・怒り」が24.3%、「自分が悪い・至らない」が16.2%の順になっている。

表 1-35 暴力を受けたときの気持ち（複数回答）

(件:%)

	調査数	怖い・恐怖・怯え	相手と別れたい	屈辱・悔しい・怒り	相手を軽蔑	無気力・無感動	現実感がない	自分への憐れみ	自分が悪い・至らない	相手のことが嫌になる	驚き	行動に起ころうと思う	今度何かされたら	その他	不明
合計	74 100.0	43 58.1	26 35.1	18 24.3	4 5.4	9 12.2	- -	2 2.7	12 16.2	11 14.9	1 1.4	2 2.7	2 2.7	2 2.7	7 9.5
ウィメンズプラザ	8 100.0	8 100.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5	3 37.5	- -	- -	3 37.5	3 37.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	35 53.0	21 31.8	16 24.2	3 4.5	6 9.1	- -	2 3.0	9 13.6	8 12.1	- -	2 3.0	2 3.0	2 3.0	7 10.6

(13) 今までに相談した相手

今までに相談した相手は、「親・親戚」が51.4%で最も多く、「警察」が44.6%、「都・区市町村窓口」が35.1%、「友人・知人」が24.3%の順になっている。その他として「成人した子供」、「他県の福祉事務所」、「学校の先生」などがあつた。

表 1-36 今までに相談した相手（複数回答）

(件:%)

	調査数	親・親戚	友人・知人	病院・医師	民間相談機関	子供の相談窓口	都・区市町村窓口	警察	弁護士	その他	相談しなかった	不明
合計	74 100.0	38 51.4	18 24.3	7 9.5	2 2.7	1 1.4	26 35.1	33 44.6	12 16.2	4 5.4	6 8.1	1 1.4
ウィメンズプラザ	8 100.0	6 75.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	- -	6 75.0	6 75.0	5 62.5	- -	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	32 48.5	14 21.2	4 6.1	1 1.5	1 1.5	20 30.3	27 40.9	7 10.6	4 6.1	6 9.1	1 1.5

(14) 子供の有無

子供の有無は、「あり」が78.4%、「なし」が18.9%となっている。

表 1-37 子供の有無 (件:%)

	調査数	あり	なし	不明
合計	74 100.0	58 78.4	14 18.9	2 2.7
ウィメンズプラザ	8 100.0	4 50.0	4 50.0	- -
女性相談センター	66 100.0	54 81.8	10 15.2	2 3.0

(14) - 1 子供の人数

(14)で子供が「あり」と答えた58人のうち、子供の人数は、「2人」が43.1%で最も多く、「1人」が37.9%、「3人」が15.5%の順になっている。

表 1-38 子供の人数 (件:%)

	調査数	1人	2人	3人	4人以上
合計	58 100.0	22 37.9	25 43.1	9 15.5	2 3.4
ウィメンズプラザ	4 100.0	4 100.0	- -	- -	- -
女性相談センター	54 100.0	18 33.3	25 46.3	9 16.7	2 3.7

(14)－2 子供の年代

(14)で子供が「あり」と答えた58人の子供の年代は、「小学生」が41.4%で最も多く、「3～6歳」、「0～2歳」がともに32.8%となっている。

表 1-39 子供の年代（複数回答） (件:%)

	調査数	0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生	18歳以上
合計	58 100.0	19 32.8	19 32.8	24 41.4	4 6.9	3 5.2	10 17.2
ウィメンズプラザ	4 100.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0
女性相談センター	54 100.0	17 31.5	19 35.2	23 42.6	4 7.4	3 5.6	9 16.7

(14)－3 加害者から子供への暴力の有無

(14)で子供「あり」と答えた58人の夫・その他の相手（加害者）から子供への暴力は、「あり」が39.7%、「なし」が34.5%である。面前DVについては15.5%があると回答している。

表 1-40 加害者から子供への暴力の有無 (件:%)

	調査数	あり	なし	見ているところでDVを行う 直接ではないが	回答なし
合計	58 100.0	23 39.7	20 34.5	9 15.5	6 10.3
ウィメンズプラザ	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-
女性相談センター	54 100.0	22 40.7	19 35.2	7 13.0	6 11.1

(14)－3－1 加害者から子供への暴力の種類と内容

(14)－3で加害者から子供への暴力が「あり」と答えた23人の暴力の種類は、「身体的暴力」が78.3%、「精神的暴力」が82.6%、「性的暴力」が17.4%となっている。受けた暴力の内容としては、身体的暴力のなかで最も多いのが「殴る」で43.5%、次いで「凶器を突きつける」「平手で叩く」がともに8.7%となっている。精神的暴力では「怒鳴る」が60.9%で最も多かった。

表 1-41 加害者から子供への暴力の種類と内容（複数回答）

	調査数	身体的暴力													
		身体的暴力・合計	殴る	蹴る	ものを投げつける	投げ飛ばす	凶器を突きつける	胸ぐらをつかむ	物で殴る	髪を引っ張る	突き飛ばす	タバコ等によるやけど	平手で叩く	つねる	その他
合計	23 100.0	18 78.3	10 43.5	- -	1 4.3	1 4.3	2 8.7	- -	1 4.3	- -	1 4.3	- -	2 8.7	- -	5 21.7
ウイメンズプラザ	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
女性相談センター	22 100.0	17 77.3	10 45.5	- -	1 4.5	1 4.5	2 9.1	- -	1 4.5	- -	1 4.5	- -	2 9.1	- -	4 18.2

精神的暴力									
精神的暴力・合計	怒鳴る	脅す	無視する	家から閉め出す	行動を監視・外出制限	他人の前で侮辱	嫌がることをする	大切なものを捨てるなど かけられる	覚えのない疑いを
19 82.6	14 60.9	2 8.7	1 4.3	2 8.7	2 8.7	- -	1 4.3	- -	
1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
18 81.8	13 59.1	2 9.1	1 4.5	2 9.1	2 9.1	- -	1 4.5	- -	

(件:%)

性的暴力・育児放棄・その他						
性的暴力・育児放棄・その他 合計	目に付くところに置く ポルノ雑誌を	身体にさわる	性行為の強要	育児放棄	その他	不明
4	-	-	-	-	-	4
17.4	-	-	-	-	-	17.4
1	-	-	-	-	-	1
100.0	-	-	-	-	-	100.0
3	-	-	-	-	-	3
13.6	-	-	-	-	-	13.6

※ 合計人数は、各暴力内の選択肢を1つ以上選択した人数とした。

(14)－4 被害者から子供への暴力の有無

(14)で子供が「あり」と答えた58人について被害者から子供への暴力は、「あり」が10.3%、「なし」が75.9%である。

表 1-42 被害者から子供への暴力の有無 (件:%)

	調査数	あり	なし	不明
合計	58	6	44	8
	100.0	10.3	75.9	13.8
ウィメンズプラザ	4	-	4	-
	100.0	-	100.0	-
女性相談センター	54	6	40	8
	100.0	11.1	74.1	14.8

(14)－4－1 被害者から子供への暴力の種類

(14)－4で被害者から子供への暴力が「あり」と答えた6人の、子供への暴力の種類は、「身体的暴力」が50.0%、「精神的暴力」が33.3%、「育児放棄」が33.3%の順になっている。

表 1-43 被害者から子供への暴力の種類（複数回答）（件：%）

	調査数	身体的暴力	精神的暴力	性的暴力	育児放棄	回答なし
合計	6 100.0	3 50.0	2 33.3	- -	2 33.3	1 16.7
ウィメンズプラザ	- -	- -	- -	- -	- -	- -
女性相談センター	6 100.0	3 50.0	2 33.3	- -	2 33.3	1 16.7

(14)－5 子供への影響

(14)で子供が「あり」と答えた58人の子供への影響は、「加害者への憎悪・恐れ」が15.5%で最も多く、次に多いのは「被害者への憎悪・恐れ」、「性格・情緒のゆがみ」で、それぞれ5.2%である。

表 1-44 子供への影響（複数回答）

	調査数	加害者への憎悪・恐れ	被害者への憎悪・恐れ	子供自身が暴力を振るう	不登校	生活の乱れ・非行	性格・情緒のゆがみ	無気力・無感動
合計	58 100.0	9 15.5	3 5.2	2 3.4	1 1.7	- -	3 5.2	- -
ウィメンズプラザ	4 100.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	- -	1 25.0	- -
女性相談センター	54 100.0	8 14.8	3 5.6	1 1.9	1 1.9	- -	2 3.7	- -

(件:%)

緊張	身体的外傷	ノイローゼ・自殺を図る	周りの世界を遮断する	発育不良等身体的症状	わからない	その他	不明	回答なし
2	-	-	1	-	8	5	9	22
3.4	-	-	1.7	-	13.8	8.6	15.5	37.9
-	-	-	-	-	1	1	-	-
-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-
2	-	-	1	-	7	4	9	22
3.7	-	-	1.9	-	13.0	7.4	16.7	40.7

(15) 加害者の属性

(15)-1 年代

加害者の年代は、「40歳代」が29.7%、「30歳代」が25.7%、「20歳代」が14.9%の順になっている。

表 1-45 加害者の年代

(件:%)

	調査数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
合計	74	-	11	19	22	11	6	5
	100.0	-	14.9	25.7	29.7	14.9	8.1	6.8
ウィメンズプラザ	8	-	-	2	3	3	-	-
	100.0	-	-	25.0	37.5	37.5	-	-
女性相談センター	66	-	11	17	19	8	6	5
	100.0	-	16.7	25.8	28.8	12.1	9.1	7.6

(15)－2 暴力を振るった時期の職業

暴力を振るった時期の加害者の職業は、「自営業」が 28.4%、「会社員・正規雇用」が 27.0%となっている。

表 1-46 加害者が暴力を振るった時期の職業 (件:%)

	調査数	無職	自営業	会社員・正規職員	契約(派遣)社員	パート・アルバイト	学生	その他	不明	回答なし
合計	74 100.0	15 20.3	21 28.4	20 27.0	5 6.8	2 2.7	- -	6 8.1	4 5.4	1 1.4
ウィメンズプラザ	8 100.0	- -	5 62.5	1 12.5	- -	1 12.5	- -	1 12.5	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	15 22.7	16 24.2	19 28.8	5 7.6	1 1.5	- -	5 7.6	4 6.1	1 1.5

(15)－3 推定年収

暴力を振るった頃の加害者の推定される年収は、「無収入」が 14.9%で最も多く、次いで「200～300万未満」、「350～500万円未満」、「500～750万未満」、「750万以上」がそれぞれ 2.7%となっている。

表 1-47 加害者が暴力を振るった時期の推定年収 (件:%)

	調査数	無収入	200万未満	200～300万未満	350～500万未満	500～750万未満	750万以上	わからない	その他	不明	回答なし
合計	74 100.0	11 14.9	1 1.4	2 2.7	2 2.7	2 2.7	2 2.7	14 18.9	2 2.7	37 50.0	1 1.4
ウィメンズプラザ	8 100.0	- -	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5	2 25.0	2 25.0	- -	1 12.5	- -
女性相談センター	66 100.0	11 16.7	- -	1 1.5	2 3.0	1 1.5	- -	12 18.2	2 3.0	36 54.5	1 1.5

(15)－4 暴力を振るう原因

被害者が考える加害者が暴力を振るう原因としては、「加害者が自分勝手・自己中心的」が 56.8%、「気に入らないことがあると暴力で解決しようとする」が 39.2%である。

表 1-48 加害者が暴力を振るう原因（複数回答）

	調査数	自己中心的 加害者が自分勝手・ 競争意識の裏返し	加害者自身の劣等感や はけ口	仕事などのストレスの はけ口	暴力で解決しようとする 気に入らないことがあると 言う事を聞かせると考えている	女子供は暴力で うまく表現出来ない	加害者が自分の思いを 被害者に対する愛情が 加害者にない	加害者の精神的疾患	
合計	74 100.0	42 56.8	3 4.1	12 16.2	29 39.2	5 6.8	5 6.8	1 1.4	4 5.4
ウイメンズプラザ	8 100.0	7 87.5	2 25.0	3 37.5	4 50.0	3 37.5	- -	- -	- -
女性相談センター	66 100.0	35 53.0	1 1.5	9 13.6	25 37.9	2 3.0	5 7.6	1 1.5	4 6.1

(件：%)

被害者を甘く見ている	被害者に対する甘え	飲酒	特に理由なし	家事は女がやるものという 思い込みを持っている	その他	回答なし
7 9.5	3 4.1	6 8.1	1 1.4	1 1.4	5 6.8	8 10.8
4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5	- -
3 4.5	1 1.5	5 7.6	- -	1 1.5	4 6.1	8 12.1

(15)－5 生育歴

加害者の生育歴は、「家庭に暴力はなかったが、家庭との関係がうまく取れていない」が10.8%、「親から暴力を受けて育った」が9.5%である。

表 1-49 加害者の生育歴

(件:%)

	調査数	親から暴力を受けて育った	両親のDVを見て育った 暴力を受けてないが、	家族との関係がうまく取れてない 家庭に暴力はなかったが、	特に家族に問題はなかった	わからない	その他	不明
合計	74 100.0	7 9.5	- -	8 10.8	2 2.7	10 13.5	5 6.8	42 56.8
ウィメンズプラザ	8 100.0	2 25.0	- -	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	3 37.5
女性相談センター	66 100.0	5 7.6	- -	7 10.6	1 1.5	9 13.6	5 7.6	39 59.1

(15)－6 暴力の振るい方

暴力の振るい方は、「他人の目に触れない家庭内だけで振るう」が36.5%で最も多く、次いで「路上など家の外でも振るうことがある」が17.6%となっている。

表 1-50 暴力の振るい方

(件:%)

	調査数	家庭内だけで振る 他人の目に触れない	路上など家の外でも 振るうことがある	配偶者だけでなく他人にも 暴力を振るうことがある	その他	不明	回答なし
合計	74 100.0	27 36.5	13 17.6	7 9.5	6 8.1	18 24.3	3 4.1
ウィメンズプラザ	8 100.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	- -	1 12.5
女性相談センター	66 100.0	24 36.4	12 18.2	5 7.6	5 7.6	18 27.3	2 3.0

(15)－7 周囲の評価

加害者の周囲からの評価は、「短気な人だと思われる」が13.5%で最も多く、「温厚で暴力を振るうはずがないと思われる」が9.5%の順になっている。

表 1-51 加害者の周囲の評価

(件:%)

	調査数	短気な人だと思われる	暴力を振るう人だと思われる	温厚で暴力を振るうはずがないと思われる	信頼できる人だと思われる	暴力にも正当な理由がある、 信厚で暴力を振るうはずがない	その他	不明	回答なし
合計	74 100.0	10 13.5	3 4.1	7 9.5	1 1.4	2 2.7	49 66.2	2 2.7	
ウィメンズプラザ	8 100.0	2 25.0	- -	1 12.5	1 12.5	- -	4 50.0	- -	
女性相談センター	66 100.0	8 12.1	3 4.5	6 9.1	- -	2 3.0	45 68.2	2 3.0	

(16) 相談内容

(16)－1 暴力に対する被害者の意識

暴力に対する被害者の意識は、「暴力は相手の問題」と答えた割合は33.8%、「自分だけでなく相手も悪い」は24.3%、「自分が悪かったと自身を責める」は13.5%である。

表 1-52 暴力に対する被害者の意識

(件:%)

	調査数	自分が悪かったと自身を責める	自分だけでなく相手も悪い	暴力は相手の問題	その他	不明	回答なし
合計	74 100.0	10 13.5	18 24.3	25 33.8	3 4.1	16 21.6	2 2.7
ウィメンズプラザ	8 100.0	2 25.0	1 12.5	4 50.0	- -	- -	1 12.5
女性相談センター	66 100.0	8 12.1	17 25.8	21 31.8	3 4.5	16 24.2	1 1.5

(16)－2 今後の希望

今後の希望として挙げられているのは、「相手に見切りをつけ、離れて自活したい」が 48.6%で最も多く、「すでに別居・離婚したので平和に暮らしたい」が 17.6%、「別居したい」が 12.2%の順になっている。

表 1-53 今後の希望

(件：%)

	調査数	どっししたらよいかわからない	相手に見切りをつけ、離れて自活したい	相手に変わってもらい一緒にやり直したい	距離をとってうまく結婚生活を送っていきたい 相手が変わるとは思わないが、	別居しながらうまくやりたい	別居したい	すでに別居・離婚したので平和に暮らしたい	その他	不明
合計	74 100.0	6 8.1	36 48.6	1 1.4	－ －	－ －	9 12.2	13 17.6	7 9.5	2 2.7
ウィメンズプラザ	8 100.0	－ －	4 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －	3 37.5	1 12.5	－ －
女性相談センター	66 100.0	6 9.1	32 48.5	1 1.5	－ －	－ －	9 13.6	10 15.2	6 9.1	2 3.0

(16)－3 暴力から逃げられなかった理由

暴力から逃げられなかった理由としては、「子供のためひとり親は避けたい」が 21.6%で最も多く、次いで「逃げる気力がなかった（無力感）」が 14.9%となっている。

表 1-54 暴力から逃げられなかった理由（複数回答）

	調査数	経済的な不安	子供のためひとり親は避けたい	子供を転校等させたくない	よりひどい暴力を受ける 逃げても見つかり、	離婚はよくない	周りに支援者がいない	加害者が自分を必要としている	逃げる気力がなかった（無力感）
合計	74 100.0	9 12.2	16 21.6	8 10.8	1 1.4	5 6.8	－ －	3 4.1	11 14.9
ウイメンズプラザ	8 100.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	－ －	1 12.5	－ －	－ －	－ －
女性相談センター	66 100.0	7 10.6	12 18.2	7 10.6	1 1.5	4 6.1	－ －	3 4.5	11 16.7

(件：%)

自分が逃げると身内に暴力が及ぶ	暴力という認識がなかった	暴力が問題だと思わなかった	加害者が立ち直ると思った	普段は良い人だから	わからない	その他	不明
1 1.4	9 12.2	2 2.7	8 10.8	4 5.4	6 8.1	5 6.8	19 25.7
－ －	1 12.5	－ －	2 25.0	1 12.5	－ －	2 25.0	－ －
1 1.5	8 12.1	2 3.0	6 9.1	3 4.5	6 9.1	3 4.5	19 28.8

(16)－4 加害者から被害者への追跡の有無

加害者から被害者への追跡の有無は、「あり」が28.4%、「わからない」が25.7%、「なし」が18.9%となっている。

表 1-55 加害者から被害者への追跡の有無 (件:%)

	調査数	あり	わからない	なし	回答なし
合計	74 100.0	21 28.4	19 25.7	14 18.9	20 27.0
ウィメンズプラザ	8 100.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
女性相談センター	66 100.0	17 25.8	17 25.8	13 19.7	19 28.8

(16)－5 被害者の追跡をした人

(16)－4で加害者から被害者への追跡が「あり」と答えた21人のうち、被害者の追跡をした人は、「加害者本人」が66.7%、「加害者の家庭・親族」が28.6%となっている。

表 1-56 被害者の追跡をした人 (複数回答) (件:%)

	調査数	加害者本人	加害者の家族・親族	加害者等の友人	わからない	不明
合計	21 100.0	14 66.7	6 28.6	1 4.8	－ －	1 4.8
ウィメンズプラザ	4 100.0	4 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
女性相談センター	17 100.0	10 58.8	6 35.3	1 5.9	－ －	1 5.9

(16)－6 不安なこと

被害者が不安に思っていることとしては、「加害者の追跡」が 47.3%で最も多く、次いで「今後の生活・将来」が 35.1%、「経済的なこと」が 29.7%、「子供の心」が 28.4%となっている。

表 1-57 不安なこと(複数回答)

	調査数	子供						加害者					
		子供・合計	子供の安全	子供の学校・保育園	子供の心	子供の親権	その他	加害者・合計	追跡	暴力の再発	嫌がらせ	加害者本人の生活	その他
合計	74 100.0	36 48.6	15 20.3	14 18.9	21 28.4	15 20.3	3 4.1	39 52.7	35 47.3	7 9.5	13 17.6	2 2.7	2 2.7
ウィメンズプラザ	8 100.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	5 62.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	6 75.0	1 12.5	5 62.5	-	1 12.5
女性相談センター	66 100.0	33 50.0	12 18.2	13 19.7	16 24.2	14 21.2	2 3.0	36 54.5	29 43.9	6 9.1	8 12.1	2 3.0	1 1.5

(件:%)

その他										
その他・合計	経済的なこと	仕事	住宅	健康	今後の生活・将来	PTSD等	離婚	財産	その他	不明
59 79.7	22 29.7	16 21.6	10 13.5	5 6.8	26 35.1	3 4.1	16 21.6	1 1.4	1 1.4	14 18.9
3 37.5	5 62.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	-	-
56 84.8	17 25.8	13 19.7	8 12.1	4 6.1	22 33.3	1 1.5	13 19.7	-	1 1.5	14 21.2

※ 合計人数は、「子供」、「加害者」内の選択肢を1つ以上選択した人数とした。

(16)－7 子供の有無による子供に関する不安の内容

「子供の有無」による子供に関する「不安なこと」を抽出し、下表に示した。子供がいる人の不安なことは、「子供の心」が34.5%、次いで「子供の親権」が25.9%となっている。

表 1-58 子供の有無による子供に関する不安の内容 (件:%)

	調査数	子供の安全	子供の学校・保育園	子供の心	子供の親権	その他
合計	74 100.0	15 20.3	14 18.9	21 28.4	15 20.3	3 4.1
子供・あり	58 100.0	14 24.1	13 22.4	20 34.5	15 25.9	3 5.2
子供・なし	14 100.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	- -	- -
不明	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

3. 男性からの配偶者暴力相談

配偶者暴力相談支援センターである「ウィメンズプラザ」で受け付けた相談について集計した。

(1) 紹介経路

紹介経路については、最も多い経路が「インターネット」で48.4%、次いで「他行政機関」で19.4%の順になっている。他行政機関としては「区役所」、「精神保健福祉センター」、「警察」などとなっている。

表 1-59 紹介経路

(件:%)

	調査数	他行政機関	インターネット	リーフレット	チラシ・ポスター	知人・友人	その他	不明
合計	31 100.0	6 19.4	15 48.4	2 6.5	1 3.2	1 3.2	6 19.4	
被害者	16 100.0	2 12.5	8 50.0	2 12.5	1 6.3	-	3 18.8	
加害者	15 100.0	4 26.7	7 46.7	-	-	1 6.7	3 20.0	

(2) 年代

相談者の年代は、「30歳代」が48.4%で最も多く、「40歳代」が29.0%、「60歳以上」が12.9%の順になっている。

表 1-60 年代

(件:%)

	調査数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
合計	31 100.0	-	1 3.2	15 48.4	9 29.0	2 6.5	4 12.9
被害者	16 100.0	-	-	12 75.0	2 12.5	-	2 12.5
加害者	15 100.0	-	1 6.7	3 20.0	7 46.7	2 13.3	2 13.3

(3) 職業

相談者の職業は、「会社員・正規職員」が最も多く 54.8%となっており、「自営業」が 35.5%、「無職」が 9.7%の順になっている。

表 1-61 職業

(件:%)

	調査数	自営業	会社員・正規職員	契約(派遣)社員	パート・アルバイト	学生	無職(主夫)
合計	31 100.0	11 35.5	17 54.8	- -	- -	- -	3 9.7
被害者	16 100.0	7 43.8	7 43.8	- -	- -	- -	2 12.5
加害者	15 100.0	4 26.7	10 66.7	- -	- -	- -	1 6.7

(4) 居住状況

相談者の居住状況は、被害者は「同居」が 68.8%、「別居」が 18.8%、加害者は「同居」が 20.0%、「別居」が 60.0%である。

表 1-62 婚姻(交際)居住状況

(件:%)

	調査数	同居	別居	不明
合計	31 100.0	14 45.2	12 38.7	5 16.1
被害者	16 100.0	11 68.8	3 18.8	2 12.5
加害者	15 100.0	3 20.0	9 60.0	3 20.0

(5) 婚姻の現状

婚姻の現状は、「婚姻」が83.9%、「未婚」が6.5%である。

表 1-63 婚姻の現状

(件:%)

	調査数	未婚	離婚	事実婚	婚姻	不明
合計	31 100.0	2 6.5	- -	- -	26 83.9	3 9.7
被害者	16 100.0	- -	- -	- -	15 93.8	1 6.3
加害者	15 100.0	2 13.3	- -	- -	11 73.3	2 13.3

(5)-1 婚姻期間

(5)「婚姻」と答えた26人の婚姻期間は「10年以上」が57.7%で最も多く、次いで「1年未満」、「1～3年未満」がともに3.8%となっている。

※(5)で「未婚」と答えた2人の加害者の交際期間は1名が10年以上、1名は回答なしである。

表 1-64 婚姻期間

(件:%)

	調査数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	回答なし
合計	26 100.0	1 3.8	1 3.8	- -	- -	15 57.7	9 34.6
被害者	15 100.0	1 6.7	1 6.7	- -	- -	8 53.3	5 33.3
加害者	11 100.0	- -	- -	- -	- -	7 63.6	4 36.4

(6) 受けた／行った暴力

被害者が受けた暴力は、「殴る」と「怒鳴る」が 31.3%で最も多く、次いで「物を投げつける」と「付き合いの制限」が 18.8%となっている。加害者が行った暴力は「殴る」が 40.0%で最も多く、次いで「特定できない精神的暴力」が 33.3%となっている。なお、本調査では精神的暴力（経済面）及び性的暴力については回答が無かった。

表 1-65 受けた／行った暴力(複数回答)

	調査数	身体的暴力							
		身体的暴力・合計	殴る	蹴る	凶器を持ち出す	首を絞める	物を投げつける	その他	特定できない身体的暴力
合計	31 100.0	14 45.2	11 35.5	3 9.7	1 3.2	1 3.2	4 12.9	1 3.2	- -
被害者	16 100.0	7 43.8	5 31.3	2 12.5	1 6.3	- -	3 18.8	1 6.3	- -
加害者	15 100.0	7 46.7	6 40.0	1 6.7	- -	1 6.7	1 6.7	- -	- -

(件:%)

精神的暴力												不明
精神的暴力・合計	怒鳴る	脅す	無視する	バカにする	付き合いの制限	大切なものを壊す	理不尽な命令する	メール・SNSのチェック	外出制限	その他	特定できない精神的暴力	
20 64.5	7 22.6	1 3.2	2 6.5	1 3.2	3 9.7	- -	3 9.7	1 3.2	- -	- -	6 19.4	2 6.5
10 62.5	5 31.3	- -	2 12.5	1 6.3	3 18.8	- -	1 6.3	1 6.3	- -	- -	1 6.3	1 6.3
10 66.7	2 13.3	1 6.7	- -	- -	- -	- -	2 13.3	- -	- -	- -	5 33.3	1 6.7

(7) 暴力の頻度

暴力の頻度で最も多い項目は「頻繁に」で51.6%であった。

表 1-66 暴力の頻度

(件:%)

	調査数	頻繁に	週1回程度	月数回程度	年数回程度	過去数回程度	その他	不明
合計	31 100.0	16 51.6	- -	1 3.2	- -	1 3.2	8 25.8	5 16.1
被害者	16 100.0	10 62.5	- -	- -	- -	- -	5 31.3	1 6.3
加害者	15 100.0	6 40.0	- -	1 6.7	- -	1 6.7	3 20.0	4 26.7

(8) 子供の有無

子供の有無は、「あり」が74.2%、「なし」が12.9%である。

表 1-67 子供の有無

(件:%)

	調査数	あり	なし	不明
合計	31 100.0	23 74.2	4 12.9	4 12.9
被害者	16 100.0	13 81.3	2 12.5	1 6.3
加害者	15 100.0	10 66.7	2 13.3	3 20.0

(8)－1 子供の人数

(8) で子供が「あり」と答えた 23 人の子供の人数は、「2 人」が 39.1%、「1 人」が 34.8%である。

表 1-68 子供の人数

(件:%)

	調査数	1人	2人	3人	4人以上	不明
合計	23 100.0	8 34.8	9 39.1	5 21.7	- -	1 4.3
被害者	13 100.0	4 30.8	7 53.8	1 7.7	- -	1 7.7
加害者	10 100.0	4 40.0	2 20.0	4 40.0	- -	- -

(8)－2 子供の年代

(8) で子供が「あり」と答えた 23 人の子供の年代は「3～6 歳」が 17.4%、「0～2 歳」、「18 歳以上」がともに 13.0%の順になっている。

表 1-69 子供の年代(複数回答)

(件:%)

	調査数	0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生	18歳以上	その他	不明
合計	23 100.0	3 13.0	4 17.4	1 4.3	- -	- -	3 13.0	- -	16 69.6
被害者	13 100.0	2 15.4	2 15.4	1 7.7	- -	- -	- -	- -	9 69.2
加害者	10 100.0	1 10.0	2 20.0	- -	- -	- -	3 30.0	- -	7 70.0

(8)－3 加害者から子供への暴力の有無

(8) で子供が「あり」と答えた 23 人のうち、加害者から子供への暴力が「あり」は 13.0%であった。

表 1-70 加害者から子供への暴力の有無 (件:%)

	調査数	あり	なし	不明
合計	23 100.0	3 13.0	- -	20 87.0
被害者(相手)	13 100.0	2 15.4	- -	11 84.6
加害者(相談者本人)	10 100.0	1 10.0	- -	9 90.0

(8)－3－1 加害者から子供への暴力の種類

(8)－3 で加害者から子供への暴力が「あり」と答えた 3 人の暴力の種類はすべて「精神的暴力」であった。

(8)－4 被害者から子供への暴力の有無

被害者からの子供への暴力は以下の通りである。

表 1-71 被害者から子供への暴力の有無 (件:%)

	調査数	あり	なし	不明	回答なし
合計	31 100.0	- -	3 9.7	21 67.7	7 22.6
被害者(相談者本人)	16 100.0	- -	3 18.8	12 75.0	1 6.3
加害者(相手)	15 100.0	- -	- -	9 60.0	6 40.0

(9) 暴力

(9)－1 相談内容

被害者からの相談内容では、「加害者と別れたい」が37.5%で最も多く、「どうしたら良いのかわからない」、「自分がDVを受けているかわからない」が18.8%で続いている。加害者からの相談内容では、「暴力をやめたい」が20.0%、「加害者更正プログラムについて知りたい」が13.3%となっている。「その他」については、被害者からは「妻より言葉の暴力を受けている」、加害者からは「医療機関に行った方がいいと言われた」、「妻に怪我をさせてしまった」などの回答があった。

表 1-72 相談内容

	調査数	被害者									
		加害者から逃げたい	加害者と別れたい	子供への暴力について	暴力をやめさせたい	どうしたら良いのかわからない	自分がDVを受けているかわからない	加害者が更生できるか	子供の様子がおかしい	情報を提供してほしい	その他
被害者	16	1	6	-	-	3	3	-	-	1	2
	100.0	6.3	37.5	-	-	18.8	18.8	-	-	6.3	12.5

(件：%)

	調査数	加害者															
		妻がいなくなった	別れたいと言われた	裁判所からきた書面は何か	暴力をやめたい	言われた	暴力をやめて欲しいと言われた	保護された	DVと偽って妻が	子供の親権が欲しい	わからない	どういうものが暴力か	DVだと言われた	覚えがないのに	わからない	夫婦喧嘩とDVの違いが	知りた
加害者	15	1	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	8
	100.0	6.7	-	-	20.0	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	13.3	53.3	

(10) 紹介した機関

被害者・加害者とも約5割が窓口相談で終了している。被害者に紹介した機関では、弁護士会等（弁護士会・法テラス等）が25.0%で一番多い。また加害者に紹介した機関としては「加害者更生プログラム」が26.7%であった。その他においては「民間カウンセリング」などが挙げられた。

表 1-73 紹介した機関

	調査数	被害者											
		窓口相談で終了	福祉事務所	保健所	(子供家庭支援センター含む) 児童相談所	警察	精神保健センター	家庭裁判所	医療機関	(弁護士会・法テラス等) 弁護士会等	他県のセンター等	都民・区市町村窓口	その他
被害者	16	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	3
	100.0	50.0	-	6.3	-	-	-	-	-	25.0	-	-	18.8

(件:%)

	調査数	加害者				
		窓口相談で終了	(弁護士会・法テラス) 弁護士会等	他県のセンター等	加害者更生プログラム	その他
加害者	15	8	-	-	4	3
	100.0	53.3	-	-	26.7	20.0